東日本大震災被災地支援派遣 帰庁報告

道路下水道局 管理部 道路維持課
池上 周作

岩沼市での震災復興支援について

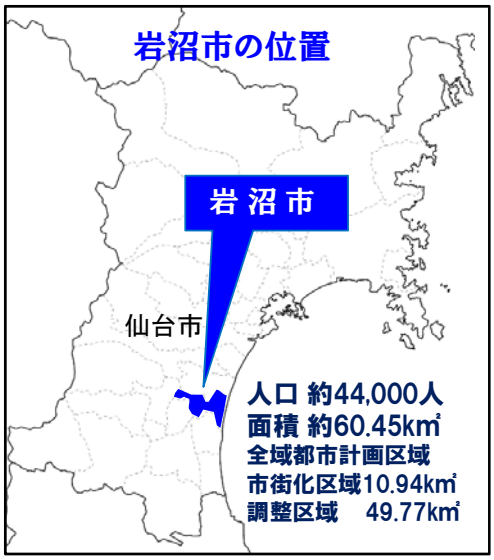
○派遣にあたって

平成２８年４月から１年間、岩沼市で震災復興の派遣職員として従事してきました。派遣にあたり、朝倉市への災害復旧派遣の経験を生かし、復興事業にも携わってみないかと声をかけていただいたのがスタートでした。自分が行っても役に立てるだろうかと不安でしたが、職場の上司・先輩等からの激励や家族の理解があったため派遣を決心しました。

これまで福岡市は、平成２３年３月１１日の東日本大震災が発生した翌年度から５年間（２４年度～２８年度）継続して岩沼市へ派遣を続けてきましたが、２８年度で派遣が終わり、私が最後の派遣職員になるということで、これまで福岡市から派遣された方々の復興への思いや苦労を引継ぎ、最後にきちんと完成させなくてはならないという気持ちを強く感じました。

○岩沼市の状況

岩沼市は、宮城県の中央部、仙台市の南１７．６ｋｍに位置しており、人口約４万４千人で市域の総面積約６０．４５ｋ㎡を有する都市です。JR 東北本線と常磐線の分岐点であり仙台市までは約２０分で到着します。また、国道４号・６号の合流点で車での移動もスムーズであり、仙台空港が所在するなど交通の利便性が高い街です。



岩沼市の震災による被災は市域の約４８％が津波により浸水し、瓦礫の量が６２万７千ｔ、住居被害約５，４００戸、１８１名の犠牲者が出ました。

私が着任した時期は、震災から５年が経過したこともあり、津波の痕跡はほとんど見られず、津波被害を受けた地区の集団移転事業は完了しており、仮設住宅も解体される直前でした。また、様々な復興・復旧事業のダンプトラックが頻繁に行き来しており工事が最盛期を迎えている状況でした。

震災直後の写真を地元の方や職場で見せてもらいましたが、当時の写真を見ながら現地を見てみると、復興が進んだ様子が伺えます。

岩沼市は、瓦礫の撤去作業も沿岸被災地で最も早く完了しており、集団移転事業も県内最速で完成しています。復興事業も平成２９年度には、ほぼ完成するなど岩沼市職員の熱心な事業の取り組みにより「復興のトップランナー」として注目されている街でもあります。

○担当業務

私の配属先は建設部土木課建設係です。職員は係長１名と係員１名に派遣職員の私を含めて３人で復興事業、災害復旧事業とあわせて通常業務の道路事業、橋梁の点検や維持補修業務を実施しています。少ない職員数で、これだけの事業をやることに驚きましたが、岩沼市は技術系職員が不足しており、技術系の派遣を要請しているが、なかなか来てもらえないとのことでした。本年度も岩沼市へ全国の県や市から派遣職員が来ていますが、事務系職員が２７名、技術系職員が私を含め２名と少ない状況でした。

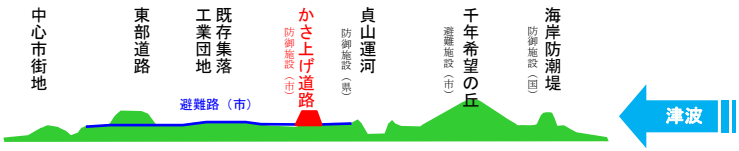
このため福岡市からの派遣はとても助かっていると感謝されましたが、逆にこれまでの歴代の方が残した福岡市の良いイメージを崩さないようにとプレッシャーを感じつつ気持ちを引き締めました。

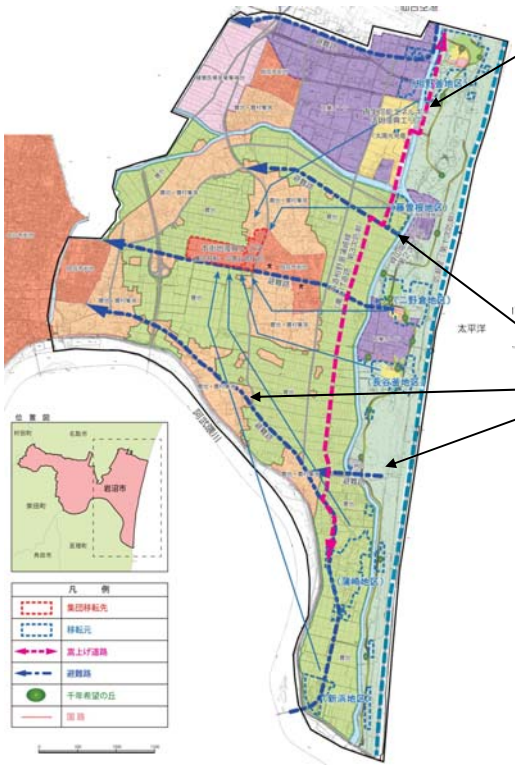
岩沼市の震災復興計画では「減災」を基本とし、津波発生時に津波の威力を減衰させるための多重防御施設の整備を国や県と連携して進めています。

私が担当している業務は、これまで福岡市の派遣職員が進めてきた多重防御施設の一つである「かさ上げ道路」と津波発生時に速やかに避難させるための「避難路」の整備を引き継ぎ担当しました。

＜多重防御（避難計画）＞

・海岸防潮堤（標高7.2m）と貞山運河の堤防（標高3.7m）及びかさ上げ道路（標高４～５ｍ）等の防御施設で津波を減衰し、避難路で内陸へ避難する。逃げ遅れた場合は、千年希望の丘（標高１１ｍ）へ避難する。





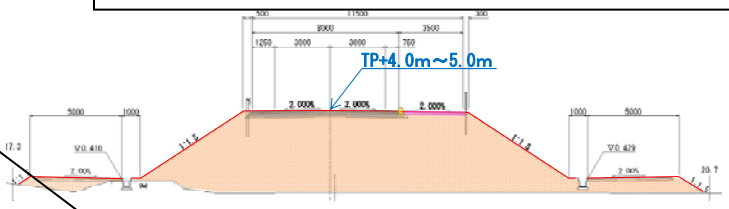
＜かさ上げ道路概要（図面赤破線）＞

・目　的：標高4～5mの盛土道路（南北道路）を沿岸近くに整備して津波を減衰させる。

・全延長：7.2ｋｍ（1～3工区　3分割発注）

・幅　員：11.5m（車道8m・歩道3.5m（片側））

・事業費：約１２３億円

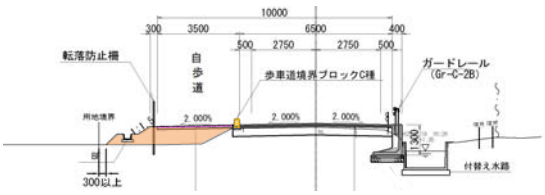


＜避難路（図面青破線）＞

・目　的：津波時に速やかに避難するための避難路（東西道路）を整備する。

・延　長：5.5ｋｍ（寺島海岸線、本町早股線、藤曽根線・藤曽根線延伸部）

・幅　員：10.0～11.5m（車道6.5～8.0m・歩道3.5m（片側））



主な業務内容は、宮城県で実施している農地圃場整備や河川改修事業などの他事業との調整や道路の供用開始に向けた交通管理者との協議、地元調整、施工業者との工程調整、変更協議等の工事監督業務です。着任時は復興事業の工事最盛期であったこともあり、現場を覚える間もなく協議する日が続き、毎日が協議の日々でした。

工事の完了時には、約３年間分の完成写真等の書類確認が大変です。また完了検査では、１０ｋｍ以上歩くこともあり運動不足の私にはハードな日々となりました。

○進捗状況

これまで前任の派遣職員の努力のおかげで、本年度にかさ上げ道路の３工区のうち２工区が完成、避難路も３路線のうち２路線が完成することができました。

全てを完成させることができなかったことが心残りですが、残りのかさ上げ道路の１工区、避難路の１路線は２９年度に完成する予定です。

＜かさ上げ道路（１工区）＞
進捗率８８．０％（平成２９年度完成予定）

＜かさ上げ道路（１工区）＞
進捗率８８．０％（平成２９年度完成予定）

＜かさ上げ道路（２工区）＞
整備前（平成２６年１月撮影）

＜かさ上げ道路（２工区）＞
平成２９年１月完成

＜かさ上げ道路（３工区）＞
平成２９年３月完成（一部供用開始）

＜かさ上げ道路（３工区）＞
河北新報記事（平成28.12.20）

かさ上げ県道 一部開通

塩釜亘理線 岩沼の800メートル区間

東日本大震災で被災した岩沼市沿岸部で、市が津波の多重防御の一つとして整備中のかさ上げ道路のうち、県道塩釜亘理線に接する区間が完成し、19日、車両の通行が始まった。かさ上げ道路の開通は、県道塩釜亘理線と市が整備する市道を含めて初めて。

開通したのは同市寺島新野中の800メートル。2014年12月着工で、2・5メ

市道のかさ上げ道路
新たに開通した区間
県道塩釜亘理線
阿武隈川
常磐自動車道
岩沼市
N

かさ上げされた県道を走るダンプカーや乗用車

＜避難路藤曽根線＞
平成２８年６月完成 供用開始

＜避難路藤曽根線＞
平成２８年６月完成 供用開始

＜避難路藤曽根線＞
平成２８年６月完成 開通式の様子

津波避難路の市道開通 岩沼

岩沼市沿岸部と内陸部を結ぶ市道「津波避難路藤曽根線」（1・3㌔）が完成し、1日、現地で開通式が行われた。仙台空港南側に広がる岩沼臨空工業団地から市中心部へと抜ける東西交通軸で、有事の際の避難路としての役割が期待される。

1車線で、同3・5㍍の歩道も設けられた。多数の市民が働く工業団地から南に延びる海沿いの市道常磐三軒茶屋線と、暴風堤盛土理線をつないでおり、既設の市道を通って内陸側へと向かうことができる。

関係者らが渡り初めをして開通を祝った

藤曽根線は幅8㍍の片側1車線で、同3・5㍍の歩道も設けられた。多数の市民が働く工業団地から南に延びる海沿いの市道常磐三軒茶屋線と、暴風堤盛土理線をつないでおり、既設の市道を通って内陸側へと向かうことができる。

仙台空港
岩沼臨空工業団地
岩沼市
県道塩釜亘理線
田嶋通
市道常磐三軒茶屋線
津波避難路藤曽根線

開通式には市職員や地元住民ら約30人が参加。テープカットして開通を祝い、それぞれが車で走り初めをした。

菊地啓夫市長は「自然災害はいつ襲ってくるかわからない。有事に備える避難路が完成し、大変喜ばしい」と話した。

整備費は約11億3000万円で、全額が復興交付金で賄われた。

＜避難路藤曽根線＞
河北新報記事（平成28.7.2）

＜避難路本町早股線＞
平成２９年３月完成 供用開始

＜避難路本町早股線＞
平成２９年３月完成 供用開始

＜避難路寺島海岸線＞
進捗率６９．５％（平成２９年度完成予定）

＜避難路寺島海岸線＞
進捗率６９．５％（平成２９年度完成予定）

○さいごに

復興事業という大規模な事業に携われたことで自分の仕事が被災地の人々の役に立っていることを直接実感できて大きなやりがいを感じました。また、完成した道路の供用開始を経験できたので大きな達成感を得ることができました。

派遣に行く前はとても不安でしたが、行ってしまえば時間が経つのが早く感じ、派遣終了時期が近づくと寂しくなります。これは派遣を通じて多くの人との出会いと別れや、その街が好きになったからだと思います。今回の派遣は自分自身の貴重な経験となりました。

派遣中には、たくさんの方が岩沼市や仙台市までお越しいただき、激励していただきました。ありがとうございました。また前任の方のサポートや先輩、後輩からたくさんの励ましのメールなどがあったので何とか１年間やり遂げることができました。感謝いたします。

１０月に、かさ上げ道路で「東北・みやぎ復興マラソン２０１７」が開催されます。
これまで岩沼市へ派遣に行ったメンバーで開通したかさ上げ道路を一緒に見学に行きましょう！

岩沼市派遣職員　　敬称略

派遣年度	所属	氏名	担当
平成24年度	建設部 土木課	牟田口 光男	かさ上げ道路、避難路
	建設部 都市計画課	竹下 和宏	街路事業(岩沼駅前広場等)
	建設部 復興都市整備課	福田 信幸	防災集団移転促進事業、千年希望の丘整備事業
平成25年度	建設部 復興都市整備課	福田 信幸	防災集団移転促進事業、千年希望の丘整備事業
	建設部 土木課	小峰 和彦	避難路
	建設部 土木課	重松 隆信	かさ上げ道路
平成26年度	建設部 復興都市整備課	福田 信幸	防災集団移転促進事業、千年希望の丘整備事業
	建設部 土木課	小峰 和彦	避難路
	建設部 土木課	重松 隆信	かさ上げ道路
平成27年度	建設部 土木課	渡邊 淳之	かさ上げ道路
	建設部 土木課	紫原 直樹	避難路
平成28年度	建設部 土木課	池上 周作	かさ上げ道路、避難路

岩沼市の「地道にコツコツと歩み続ける街」をイメージした「日本一地に足の着いた」マスコットキャラクター「岩沼係長」
（平成２８年４月デビュー）